

## 改善計画書(兼改善状況確認書)

優先順位	改善項目		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価( 年 月 日現在)
	自己	外部				
1	15	8	所のどんな事でも気兼ねなくお話いただくようにしたい。	家族の面会時や家族会、月報告書などで本音をお聞きするように、日頃から情報や交流を続ける。	随時	
2	47	19	家族の一番心配なことなので、当初の方針を決める。	時間と共にADLの範囲が減少すること、心身ともし衰える事などは、家族に事実として伝え、当所の出来る範囲、出来ないケアの説明できる方針を作成しご理解いただき、たとえば、通院、入院、点滴などの対応。	家族との面会時などで	
3	8	5	地域の住人として馴染むため、本人との家族の意向が理念に添いケアに生かせる	運営推進委員の方の協力依頼のため、次年度の委員会が無駄に終わらない年間計画の見直し。	2ヶ月に1度	
4	43	18	係り付け医の定期的に来所する。	夜間、緊急時の連絡は勿論、定期的に年に2度の診察の訪問依頼を根気良く依頼する。	根気よく	
5	33	14	担当職員により、より細かい利用者のアセスメントで本人の意向を把握する。	毎月の担当者会では、職員全員による介護問題提供、自立のための新たな問題解決法を定期的に検討する。	毎月	